

令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨に係る本市の支援、対策について

I. 本市の支援状況

1. 松江市から珠洲市への応援派遣

派遣実績：76名（震災関連：57名、豪雨関連15名、災害復旧関連：4名）

【内訳】

(1) 震災関連

業務内容等	本市派遣実績
①先遣隊（令和6年1月4～6日）	3名
②罹災証明発行（令和6年1月17日～5月3日）	41名
③保健師等現地調査（令和6年2月5～8日）	5名
④保健師（令和6年3月8～31日）	8名
合計	<u>57名</u>

(2) 豪雨関連

業務内容等	本市派遣実績
①罹災証明発行（令和6年10月28日～12月1日）	<u>15名</u>

(3) 災害復旧関連（技術職）

業務内容等	本市派遣実績
①中長期派遣（令和6年4月22日～）	<u>4名</u>

※中長期派遣により、現在2名の職員を派遣中。

2. 珠洲市への被災地訪問

(1) 日程

- ・令和6年11月6日（水）

(2) 訪問者

- ・松江市長、松江市議会議長

(3) 目的

- ・能登半島地震・奥能登豪雨災害の被災地支援
- ・今後の支援に向けた被災地の状況確認

II. 本市の対策

能登半島地震の被害状況等を参考に、本市において同様の地震災害が発生した場合、道路の寸断等により半島部において孤立地区が発生する可能性があることから、以下の対策を実施する。

1. 島根半島沿岸部の集落への分散備蓄

各集落に2日分の食料、飲料水を今年度中に配備する。

対象地区：大野、秋鹿、鹿島、島根、美保関町の沿岸部

2. 島根半島沿岸部の場外離着陸場適地の選定・確保

空路からの救助・救援活動のため自衛隊大型ヘリ等の緊急時における離着陸場の選定・確保を行い、今年度中に離着陸可能なヘリの機種を明確化し、災害時の救助・救援活動の実効性を高める。

※島根県と協力して、引き続き島根半島部の防災対策強化に取り組んでいく。

Ⅲ. その他

1. 珠洲市の概要と経緯

	令和5年12月末	⇒	令和6年12月末	
・人口	12,573人		11,374人	(△1,199人)
・世帯数	5,843世帯		5,473世帯	(△370世帯)

・昭和63年：姉妹都市提携 平成24年：災害時相互応援協定締結

2. 珠洲市の被害等の状況（令和7年1月28日現在）

(1) 能登半島地震における被害の状況（人的・建物被害）

人的被害（人）					
死者	うち災害関連死	行方不明者	負傷者		計
			重傷	軽傷	
151	54	-	47	202	400

住家被害（棟）					
全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	計
1,749	2,084	1,750	-	-	5,583

(2) 奥能登豪雨における被害の状況（人的・建物被害）

人的被害（人）					
死者	うち災害関連死	行方不明者	負傷者		計
			重傷	軽傷	
3	-	-	-	9	12

住家被害（棟）					
全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	計
14	61	8	17	207	307

(3) 避難所開設状況

- ・開設数 1箇所、避難者数 9人 (豪雨災害)

(4) 断水状況

- ・地震による断水 235戸
- ・豪雨による断水 21戸 ※ (通水率94.4%)

(5) 応急仮設住宅

- ・地震による仮設 1,718戸 (全て完成)
- ・豪雨による仮設 22戸 (2月下旬完成)